

(学校用)

様式 A-1

平成 年 月
日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 山梨県立吉田高等学校 舟久保 豊
2. 講師氏名: B arbara U. GEILHORN 博士
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 28 年 1月 19 日 (火) 13:00 ~ 15:30
5. 参加生徒: 2_年生 39人、 __年生 __人、 __年生 __人 (合計 39人)
備考: 理数科の生徒
6. 講演題目: (英文) Japanese Theatre after Fukushima - Selected case studies
(和文)
7. 講演概要:
故郷ドイツについて
震災を芸術で表現することの意味
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
なし
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
なし
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: